

枚方市の教育理念

『夢と志を持ち、可能性に挑戦する“枚方のこども”の育成』

～子どもたちの未来への可能性を最大限に伸ばす枚方の教育～

学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく

～個人と社会のウェルビーイングの実現をめざし、可能性を最大限に伸ばす～

○知・徳・体の調和のとれた「生きる力」に必要な基礎的な学力や自ら考える力は、主体的・協働的な学習の中で培われるものです。また、グローバル化が進展するなど、これからの社会の変化に対応できる資質・能力を養う教育をめざすことを『学びあい』という言葉で示しました。

学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく

～個人と社会のウェルビーイングの実現をめざし、可能性を最大限に伸ばす～

〇人と人とがつながりあう力を育むことは教育の目標であるとともに、子どもと子ども、子どもと大人、大人と大人、学校、家庭、地域など、年齢や立場を超えて協働することは、魅力あるまちづくりを行う上でも必要なものです。こうしたつながりを深めるための教育や環境づくりをめざして、『つながりあい』という言葉で示しました。

学びあい、つながりあい、一人ひとりの未来をひらく

～個人と社会のウェルビーイングの実現をめざし、可能性を最大限に伸ばす～

○『学びあい』や『つながりあい』の中で育まれた人間力や他者と協働・共生する力は、一人ひとりが社会を生き抜くうえで土台となるものです。

子どもから大人まであらゆる世代の人が輝き、これからの社会を生き抜き、未来への可能性を最大限に伸ばす教育を推進することを、『一人ひとりの未来をひらく』という言葉で示しました。

西長尾小の基本理念

命を守り

命を育み

命をつなぐ

学校教育目標

ともに学び合い、
自ら考え行動し、
思いやりをもって、
仲間とより良い授業を
創造し続ける子どもの育成

枚方市立 西長尾小学校 令和8年4月

【設立当時のめざす子ども像】

心豊かな子ども

自分と友達を大切に思いやりのある子ども

深く考える子ども

自ら学び、考えて行動できる子ども

健康で明るい子ども

きまりや約束を守りよく遊び、困難なことも最後までやり抜くための体力・気力を持った子ども

あきらめずにがんばる力

1



じぶんと
むずかしいこと

忍耐力

むずかしいことがあっても、あきらめずにさいごまでがんばる力

じぶんをたいせつにする力

2



じぶんを
たいせつにする

自尊心

じぶんの いいところを見つけて、じぶんを だいじにする力

おたがいのことをしる力

3



相手のこと
をわかって
あげる

社会理解

ともだちの かんがえや きもちをして、なかよくなる力

きもちをコントロールする力

4



じぶんと
むずかしいこと

自制心

じぶんのきもちを おちつかせて、やるべきことを がんばる力

レベルアップする力

5



じぶんを
たいせつにする

向上心

もっとできるようになりたい とおもって、がんばる力

おもいやりをたいせつにする力

6



じぶんと
むずかしいこと

愛敬心

ともだちの きもちをかんがえて、「だいじょうぶ?」とやさしくよりそえる力

みんなときょうりよくする力

7



みんなと
きょうりよく
する

協調

ともだちと力をあわせて、いっしょにがんばる力

1. 発達や学習の特性、生活環境、言語文化の異なる子どもや不登校傾向にある子どもなど、多様な子どもと学ぶために基礎的環境整備や合理的配慮を適切に設定し心理的安全性を保障します。
2. 全ての子どもが安心して且つ学びに参加出来る個別最適な支援（積極的なICTの活用）をイメージした授業デザインへと授業そのものを転換します。
3. 働き方改革の取り組みから、教師と児童双方に「余白」を生み出すためのカリキュラムマネジメントに取り組み教育課程の編成・実施を行います。
4. 地域とともにあって信頼される学校をめざします

1. 発達や学習の特性、生活環境、言語文化の異なる子どもや不登校傾向にある子どもなど、多様な子どもと学ぶために基礎的環境整備や合理的配慮を適切に設定し心理的安全性を保障します。

**2. 全ての子どもが安心して且つ
学びに参加出来る個別最適な支
援（積極的なICTの効果的な活
用）をイメージした授業デザイン
へと授業そのものを転換します。**

3. 働き方改革の取り組みから、教師と児童双方に「余白」を生み出すためのカリキュラムマネジメントに取り組み教育課程の編成・実施を行います。

**4. 地域とともにあって信頼される
学校をめざします。
コミュニティスクールの取り組み
を推進します。**

安心して
学べる
集団づくり

家庭学習
との
つながり

Hirakata 授業スタンダード

子どもが主体の学びへ

学習指導要領
の理解

教材研究
指導スキル
の向上

ICTの効果的活用 自己選択・自己決定・自己調整 合理的配慮 基礎的環境整備

目標設定

質の高い「目標設定」から学びに向かう
関心や不思議さ、必要感や不都合感のある、思考を促す目標を効果的に示します。
子どもが解決に向けて見通しをもち、学びに向かいます。

先生の役割は
ファシリテーター

見方・考え方を育む
発問の工夫

逆向き設計による
子どもにつけたい力の
明確化

指導と評価を一体化させる
評価規準・評価基準の設定

学習活動の充実を図る
単元計画



一人一人のよさを伸ばす
アセスメント

学びを子どもに
委ねる

個別最適な学び
自ら学びを調整する
学びの主体は子どもに
あります。「指導の個別化」
「学習の個性化」の充実を
図り、子どもの個別最適な
学びを実現します。

学習形態
個・ペア・グループ
全体等

学習方法
紙・ICT等

協働的な学び
対話から気づきを深める
捉え方や考えの違いから
再確認や新たな発見をし、
自分の考えを再構築する
ことで、子どもの協働的な
学びを実現します。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を往還し、一体的な充実を図ることが大切です。

振り返り

学習活動をまとめ、振り返る
学習活動を振り返り、一人一人が学習状況を確認します。
個別の気づきや新たな課題を、タブレット端末やノート等に根拠とともに書きます。

授業で大切にしたい
5つのCの視点

Challenge

チャレンジ・挑戦

学校生活の中で、課題を解決したり、目的を達成したりするために、困難な問題や未経験のこと等に積極的に取り組みます。また、自分自身で新たな課題を発見します。

Communication

コミュニケーション・意思伝達

相手の立場を意図しながら、自分の考えを相手にわかりやすく、効果的に伝えます。また、相手の意見や考えを正しく理解するために聴きます。

Collaboration

コラボレーション・協働

課題を解決したり目的を達成したりするために、自分と異なる考えを持つ人を尊重し、認め合いながら協力して取り組みます。

Creativity

クリエイティビティ・創造

課題や目的を解決するための柔軟なアイデアを表現します。また、アイデアを相手と共有することで、より深まりのあるアイデアを創り出します。

Critical thinking

クリティカルシンキング・批判的思考

物事を多面的な視点でとらえながら、調べた内容や相手の意見等の情報を正しく判断するために、その理由や事実と矛盾がないかどうかについて、自ら考え、分析し、判断します。

小学校版

安心して
学べる
集団づくり

家庭学習
との
つながり

Hirakata 授業スタンダード 子どもが主体の学びへ

学習指導要領
の理解

教材研究
指導スキル
の向上

ICTの効果的活用 自己選択・自己決定・自己調整 合理的配慮 基礎的環境整備

目標設定

質の高い「目標設定」から学びに向かう

驚きや不思議さ、必要感や不都合感のある、思考を促す目標を効果的に示します。
子どもが解決に向けて見通しをもち、学びに向かいます。

先生の役割は
ファシリテーター

見方・考え方を育む
発問の工夫

逆向き設計による
子どもにつけたい力の
明確化

指導と評価を一体化させる
評価規準・評価基準の設定

学習活動の充実を図る
単元計画



一人一人のよさを伸ばす
アセスメント

学びを子どもに
委ねる

個別最適な学び
自ら学びを調整する
学びの主体は子どもに
あります。「指導の個別化」
「学習の個性化」の充実を
図り、子どもの個別最適な
学びを実現します。

学習形態
個・ペア・グループ
全体等

学習方法
紙・ICT等

協働的な学び
対話から気づきを深める
捉え方や考えの違いから
再確認や新たな発見をし、
自分の考えを再構築する
ことで、子どもの協働的な
学びを実現します。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を往還し、一体的な充実を図ることが大切です。

学びを子どもに
委ねる

個別最適な学び
自ら学びを調整する
学びの主体は子どもに
あります。「指導の個別化」
「学習の個性化」の充実を
図り、子どもの個別最適な
学びを実現します。

学習形態
個・ペア・グループ
全体等

学習方法
紙・ICT等

協働的な学び
対話から気づきを深める
捉え方や考えの違いから
再確認や新たな発見をし、
自分の考えを再構築する
ことで、子どもの協働的な
学びを実現します。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を往還し、一体的な充実を図ることが大切です。

振り返り

学習活動をまとめ、振り返る

学習活動を振り返り、一人一人が学習状況を確認します。
個別の気づきや新たな課題を、タブレット端末やノート等に根拠とともに書きます。



授業で大切にしたい

5つのCの視点

Challenge

チャレンジ・挑戦

学校生活の中で、課題を解決したり、目的を達成したりするために、困難な問題や未経験のこと等に積極的に取り組みます。また、自分自身で新たな課題を発見します。

(チャレンジを除く力は、) 国際バカロレア (IB) 教育の4Cとは21世紀型スキルのこと。

「自分で考え、他者と学び、世界と関わるための力」のこと。探究型学習 (IBL) と関連性がある。

Communication

コミュニケーション・意思伝達

相手の立場を意識しながら、自分の考えを相手にわかりやすく、効果的に伝えます。また、相手の意見や考えを正しく理解するために聴きます。

Creativity

クリエイティビティ・創造

課題や目的を解決するための柔軟なアイデアを表現します。また、アイデアを相手と共有することで、より深まりのあるアイデアを創り出します。

Collaboration

コラボレーション・協働

課題を解決したり目的を達成したりするために、自分と異なる考え方を持つ人を尊重し、認め合いながら協力して取り組みます。

Critical thinking

クリティカルシンキング・思考判断

物事を多面的な視点でとらえながら、調べた内容や相手の意見等の情報を正しく判断するために、その理由や事実と矛盾がないかどうかについて、自ら考え、分析し、判断します。



つまり



わたしたちの
わたしたちによる
わたしたちのための
たのしむがっこうをつくるう



小学校

学習指導要領(平成 29 年告示)

平成 29 年 3 月 告示

私たちの3本のバイブル

生徒指導提要

令和4年12月

文部科学省

私たちの3本のバイブル



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY JAPAN

07 特別支援教育

私たちの3本のバイブル

子ども達の生活面を支えます【人権生活指導分掌】

- 発達支持的生徒指導の取り組みの意識を。
- ポジティブな行動を励ましていきます。PBSの取り組みを。
- 道徳授業、特別活動（学級活動・委員会等で異学年交流を）の改善
 - ・ 学級活動を子どもまつりとお楽しみ会だけに使わずに、毎週実施し、多様な子どもどうしでともに楽しむ授業を創造する機会に。心理的安全性を保つ視点をもつ学級活動を。
 - ・ いじめの見逃しゼロの学級づくりを「いつ」「どこで」「どのような視点で」「取り組みますか？」
- チーム学校体制の構築
 - ・ 校内支援ルーム指導員、心の教室相談員、SSW、SCと配慮を要する児童の実態を把握し子ども達の支援をしています。

子ども達の生活面を支えます

▼校内支援ルームの様子

□校内支援ルームの充実について

チーム学校体制の構築 →

- ・登校支援員、心の相談員、SSW、SCと配慮を要する児童の実態を把握し子ども達の支援をしています。
- ・不登校児童に積極的にアピールしていきます。



▼校内支援ルームの様子



子ども達の学習面を支えます【学力向上分掌】

研究テーマ

「読むって楽しい！伝えるっておもしろい！

～説明文から広がる学びの力～」

- 学びに向かう力の育成
- 言語活動を取り入れた授業改善に向けた取り組み
- 単元において自己選択（決定）、自己調整できる機会をつくり主体的な学びを育む仕掛けをつくる
- 非認知能力を育む、教科を超えた授業改善の手立て

【（主体的な）働き方改革の推進】

- 働き方改革推進が自分の能力を高めたと実感できるように
- wellbeingを意識したワークライフバランスを確認
- 子ども達を誰1人放っておかない体制づくりのための
業務改善を目指し、単なる効率主義に陥らないことの確認
- 毎月1回、各学年の代表としての校内会議出席を意識化
- 毎月校内の課題を持ち寄り検討し、できることから実施
- 職員室の整理・整頓等**基本的なこと**から再スタート

【コミュニティ・スクールの学校運営の充実】

✨地域の人との楽しい出会い✨



地域

blog発信

blog発信



子どもサポーター制度の維持・継続 及び 更なる地域人材の
掘り起こしを行いコミュニティの活性化をはかる

【コミュニティ・スクールの学校運営の充実】



子どもサポーター制度の維持・継続 及び 更なる地域人材の
掘り起こしを行いコミュニティの活性化をはかる

【コミュニティ・スクールの学校運営の充実】



子どもサポーター制度の維持・継続 及び 更なる地域人材の
掘り起こしを行いコミュニティの活性化をはかる

教職員の伴走支援 と 保護者、地域の参画により
「子ども達の 子ども達による
子ども達のための 学校づくり」の実現

小学校のゴールは卒業式

名前を呼ばれたら 聞き手に聞こえる応答ができる

自信をもって歩む

自信を持って礼をする

自信を持って受け取る

堂々と歩む

姿勢よく座り

堂々と笑顔で退場する

決意と感謝の気持ちを声と歌声で

退場した後も最後まで心を落ち着かせて待つ

命を守り 命を育み 命をつなぐ

さあ、これから約200日!
はじまります
計画をつくり
ゴールをイメージして
毎日の記録を撮り綴り改善して
言葉を紡ぎ 言葉を発信 言葉で記録して
子どもの言語能力を育み
行動できる子どもを
そのために我々が行動しましょう
大丈夫。きつとうまくいく！